

ページ	箇所	現行（誤）	訂正
031	下4行	【数値の端数処理について】 計算途中で数値を丸める場合、特記なき場合は以下を原則とします。 ・面積は四捨五入 ・その他は切上げ（安全側）	削除
035	3行目	外皮等面積の合計	外皮の部位の面積の合計
047	最終行	$U_A$ 、 $\eta_A$ の計算過程に	$U_A$ 、 $\eta_{AC}$ の計算過程に
047	下から8行目	材料の熱伝達率	材料の熱伝導率
057	下から12行目	$\psi = 1.80$ $- 1.36 \{ R_1 \times H_1 + R_4 (H_1 - H_2) \}^{0.15}$	$\psi = 1.80$ $- 1.36 \{ R_1 \times (H_1 + W_1) + R_4 (H_1 - H_2) \}^{0.15}$
057	図		
057	9行目～10行目	GL+400mm以下の場合に適用されます。GL+400mmを超える場合は、この計算式によらず、	GL+400mm以下の部分に適用されます。GL+400mmを超える部分は、この計算式によらず、
059	1行目	4) GL+400mmを超える場合	4) GL+400mmを超える部分
063	2行目	外皮等面積の合計 $\Sigma A$	外皮の部位の面積の合計 $\Sigma A$
066	13行目	「1. 外皮平均熱貫流率 $U_A$ の計算」	「2. 外皮平均熱貫流率の計算」 (P038)
098	1行目～2行目	暖房期の平均日射熱取得率 ( $\eta_{AC}$ ) 冷房期の平均日射熱取得率 ( $\eta_{AH}$ )	暖房期の平均日射熱取得率 ( $\eta_{AH}$ ) 冷房期の平均日射熱取得率 ( $\eta_{AC}$ )
152	最終行	・部位別仕様表 (P080、P183～187) を使用することができます。	削除
156	10行目	空気室の悪化など	空気質の悪化など
157	9行目	連続して連続して施工する	連続して施工する
158	下から2行目	水蒸気が対流	水蒸気が滞留
166	表	参照ページが間違っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外気側の表面熱抵抗（小屋裏）、外気側の表面熱抵抗（通気層）、外気側の表面熱抵抗（床下）、室内側の表面熱抵抗、密閉空気層：P046→P048</li> <li>・グラスウール断熱材HG16-38：P182→P190</li> <li>・押出法ポリスチレンフォーム3種bA：P182→P191</li> <li>・せっこうボード：P181→P189</li> <li>・合板、木材：P181→P188</li> <li>・<math>R_t</math>、<math>U=1/R_t</math>：P045→P047</li> <li>・面積比率を考慮したU：P050→P052（別紙参照）</li> </ul>
166	表	せっこうボードの熱伝導率：0.22	0.221
166	外壁の表の下	（断面構成の図はP053参照）	（断面構成の図はP055参照）

正 誤 表

2016/12/28改

ページ	箇所	現行 (誤)	訂正
167	●基礎 (外気に接する基礎) の式	$\psi = 1.80$ $- 1.36 \{ R_1 \times H_1 + R_4 (H_1 - H_2) \}^{0.15}$	$\psi = 1.80$ $- 1.36 \{ R_1 \times (H_1 + W_1) + R_4 (H_1 - H_2) \}^{0.15}$
167	●基礎 (床下に接する基礎) の式	$\psi = 1.80$ $- 1.36 \{ R_1 \times H_1 + R_4 (H_1 - H_2) \}^{0.15}$	$\psi = 1.80$ $- 1.36 \{ R_1 \times (H_1 + W_1) + R_4 (H_1 - H_2) \}^{0.15}$
170	計算結果の表中 合計欄	外皮熱損失量 249.95 (↓四捨五入) q = 249.9	外皮熱損失量 249.85 (↓四捨五入) q = 249.9
202	17行目 省エネルギーセンターの URL	<a href="http://www.jsbc.or.jp/">http://www.jsbc.or.jp/</a>	<a href="http://www.eccj.or.jp/">http://www.eccj.or.jp/</a>

## 2. 外皮性能の計算

熱貫流率の値は、外皮平均熱貫流率  $U_A$  と冷房期の平均日射熱取得率  $\eta_A$  の計算過程において四捨五入としますが、その位は任意です。

●天井				断熱部	熱橋部		
				面積比率→	1	0	P052
材料	厚さ $d$ m	熱伝導率 $\lambda$ [W/(m·K)]	熱抵抗 $R (= d / \lambda)$ [m <sup>2</sup> ·K/W]		参照		
外気側の表面熱抵抗 (小屋裏) $R_o$	—	—	0.09		P048		
グラスウール断熱材 HG16-38	0.155	0.038	4.079		P190		
せっこうボード	0.0095	0.221	0.043		P189		
室内側の表面熱抵抗 $R_i$	—	—	0.09		P048		
				$R_t =$	4.302		P047
				$U = 1 / R_t =$	0.2325 (↓四捨五入)		
					0.23 [W/(m <sup>2</sup> ·K)]		

●外壁				断熱部	熱橋部		
				面積比率→	0.83	0.17	P052
材料	厚さ $d$ m	熱伝導率 $\lambda$ [W/(m·K)]	熱抵抗 $R (= d / \lambda)$ [m <sup>2</sup> ·K/W]		参照		
外気側の表面熱抵抗 (通気層) $R_o$	—	—	0.11	0.11	P048		
合板	0.012	0.16	0.075	0.075	P188		
密閉空気層 $R_a$	0.015	—	0.09	0.09	P048		
グラスウール断熱材 HG16-38	0.09	0.038	2.368	—	P190		
木材	0.09	0.12	—	0.75	P188		
せっこうボード (注: 横架材まで張り上げる)	0.0125	0.22	0.057	0.057	P189		
室内側の表面熱抵抗 $R_i$	—	—	0.11	0.11	P048		
(断面構成の図は P053 参照)				$R_t =$	2.810	1.192	P047
				$U = 1 / R_t =$	0.3559	0.8389	
面積比率を考慮した $U =$					0.4380 (↓四捨五入)		P052
					0.44 [W/(m <sup>2</sup> ·K)]		

●床				断熱部	熱橋部		
				面積比率→	0.85	0.15	P052
材料	厚さ $d$ m	熱伝導率 $\lambda$ [W/(m·K)]	熱抵抗 $R (= d / \lambda)$ [m <sup>2</sup> ·K/W]		参照		
室内側の表面熱抵抗 $R_i$	—	—	0.15	0.15	P048		
合板	0.012	0.16	0.075	0.075	P188		
押出法ポリスチレンフォーム 3種 bA	0.065	0.028	2.321	—	P191		
木材	0.065	0.12	—	0.542	P188		
外気側の表面熱抵抗 (床下) $R_o$	—	—	0.15	0.15	P048		
				$R_t =$	2.696	0.917	P047
				$U = 1 / R_t =$	0.3709	1.0905	
面積比率を考慮した $U =$					0.4788 (↓四捨五入)		P052
					0.48 [W/(m <sup>2</sup> ·K)]		